

私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

「高齢者運転見守りサービス ～シルバー世代も障害のある人も 安心安全に運転しよう～」

高齢ドライバーの交通事故が社会問題になるなか、自動車に専用機器を取り付けて事故を未然に防ぐシステムがあります。高齢者だけではなく、免許取得可能な障害のある方も日頃の運転状況を確認して安心安全に楽しいドライブを楽しみましょう！

❖高齢者の運転は心配・・・でも・・・

筆者の実父は横浜市在住の86歳。現役バリバリのドライバーで買い物にボランティア活動にと、ほぼ毎日運転しています。数年前からニュース等で見る高齢ドライバーの事故が気になり、免許返納を勧めていましたが、自立度の高い父にとって、それは屈辱でしかありませんでした。

心配しつつも、日頃から重度の自閉症者である息子の権利擁護を意識していたため、自分の言葉は父の権利侵害になるのではないかと気にかかっていた。

❖運転見守りサービスとの出会い

そんなある日、テレビのニュースで「高齢者運転見守りサービス」の存在を知りました。

それはGPSと通信機能を備えた専用の車載機器を取り付けることで、速度超過や急加速、急ブレーキといった運転リスクを記録します。

更に運転が終了すると、事前に登録しておいた携帯電話等に運転出発地と到着地、走行距離、走行時間、先の運転リスクの有無をメールで即座に通知します。

早速、父の車に搭載し、運転の様子を見ることにいたしました。

利用当初はハイリスクの運転ぶりに、慌てて連絡することもありましたが、見られているという意識は、いつしか父を優良安全運転ドライバーへと仕立てていきました。

❖さまざまな新技術と国の動向

父の利用する「高齢者運転見守りサービス」以外にも、危険運転を音声で警告するサービスやアクセル踏


今月は

⇒ **神奈川県自閉症児・者親の会連合会**

がお伝えします！

1968年4月設立。県内11地区（横浜市・川崎市を除く）の自閉症児・者親の会による連合会です。行政施策の研究・提言、当事者・家族のためのミーティング運営、療育者等に向けた勉強・セミナー運営等、自閉症児・者と家族の支援や、自閉症スペクトラムの理解を進めるための活動を各市町村及び県に向けて展開しています。

〈連絡先〉  info-kas@kas-yamabiko.jpn.org

 <http://kas-yamabiko.jpn.org/>

み間違い防止の急発進防止装置等、さまざまな機器が出回っています。

これらは月数百円から利用できるものもあり、当事者と家族の安心のために一役買っていることでしょう。

国は国内自動車メーカー8社に対し、「高齢運転者事故防止対策プログラム」の策定を要請しています。これを受け、メーカー各社は2020年までに「自動ブレーキ」「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」等の機能をほぼ全ての新車に搭載する予定です。

ただ、仕事をリタイアした高齢者など平均年収に満たない人にとっては、新車に買い替えるだけの経済的余裕がない場合が多いのも現実です。

❖もっと社会に参加しよう

運転見守りサービスは本人の了承がなければ始められませんが、今すぐ導入できる安全運転支援機能は当面、事故軽減の強い味方となるでしょう。

父はその後も慎重な運転で、地域で生き生きと過ごしています。

筆者は父からむやみに免許を取り上げて、自尊心を傷つけたり社会から孤立させずに済んだことは良かったと心から思っています。

高齢の方だけではなく、運転に自信がない運転免許証を所持する障害のある方にも、ご自身の運転を常に見直してどんどん社会に参加してほしいと思います。

